「若年層支援者研修会」を開催しました！

当圏域では，15 歳から 39 歳の各年代の死因の 1 位は「自殺」で，自殺率を 10 年前と比較すると，若年層に自殺の増加傾向が見られます。その背景には，就労や健康等様々な問題が複雑に関係しており，自殺率の増加に深刻な影響を及ぼしていると考えられ，昨年に続いて，産業保健，医療保健，教育関係者等を対象に，若年層へのメンタルヘルス対策強化を目的に研修会を実施しました。

開催日時　平成２９年１１月６日（月）19:30～21:00
開催場所　福山市医師会館　４階　演習室
主　　催　福山・府中地域保健対策協議会　　うつ・自殺対策医療連携協議会
参加者数　９８名

● プログラム

19:30　開会あいさつ
福山･府中地域保健対策協議会　うつ･自殺対策医療連携協議会
委員　吉永　圭一郎　先生

【講演】
「職域における若年層へのメンタルヘルス対策　PartⅡ」
～円滑なコミュニケーションのとり方～
川崎医療福祉大学　医療福祉学部　臨床心理学科
教授　谷原　弘之　先生

21:00　閉会あいさつ
福山･府中地域保健対策協議会　うつ･自殺対策医療連携協議会
委員　吉永　圭一郎　先生

[吉永委員　開会あいさつ]

【講演】

川崎医療福祉大学　医療福祉学部　臨床心理学科
教授　谷原　弘之　先生から「職域における若年層へのメンタルヘルス対策　PartⅡ～ 円滑なコミュニケーションのとり方」と題した御講演がありました。
若年層の行動特性及び成長を目指した対処法等について，具体的な事例を挙げて分かりやすく説明していただき，大変勉強になりました。
参加者からも，「若者の思考について事例を交えてのお話でとても分かり易かった。」「日頃，職員の育成で悩んだ部分があったが良いアドバイスをいただいた。」「一人で背負わず，全体で育てる姿勢や仕組みも大切である。」などたくさんの意見が寄せられました。

[谷原先生の御講演の様子]

[研修会会場の様子]